

秋晴れの中の修学旅行

9 月 29 日 (火)、鳥取県西部を中心とした日帰りの修学旅行に行ってきました。以前に学校便りでお知らせしたように、今年度の修学旅行は訪問予定先が度々変わり、さらに宿泊なしの県内旅行になりましたが、参加した 6 年生は集団行動のきまりを守り、学ぶ場面や仲間と楽しむ場面の切り替えを行い、気持ちのよい修学旅行になりました。

新型コロナの関係で、野外で活動する日程を多く組んでいたのですが、当日の天気を心配しましたが、とてもよい天気恵まれ、秋のさわやかな空の下で気持ちよく活動ができました。

最初の訪問先は大山口列車空襲慰霊碑です。昭和 20 年 7 月 28 日午前 8 時頃、大山口駅付近で、空襲を避け停車していた鳥取から出雲に向かう 11 両編成の列車に米軍艦載機 3 機が銃爆撃を加えました。この空襲で死亡 44 名、負傷 31 名以上の犠牲者が出たのです。

広島に落とされた原爆のことは学習して知っていましたが、私たちが住む鳥取県にも空襲があり多くの命が散っていった事実を知りました。慰霊碑にみんなで作った折鶴を飾り、平和の誓いを新たにしました。

鳥取花回廊では、2 つのグループに分かれ、花を使った万華鏡を作ったり、回廊内でフィールドビンゴをしたりして楽しみました。きれいな花が咲く花回廊内で大山をバックに記念写真を撮りました。

班ごとに昼食をとった後は、子どもたちが楽しみにしていた森の国大山フィールドアスレチックへと向かいました。一般のお客様も何人かおられましたが、ほぼ貸し切り状態で、グループごとに様々なアスレチックで楽しみました。「昆虫コース」「大山コース」に向かって走りだしさっそく挑戦する班、ここはゆっくりお菓子を食べてお茶を飲んでスタートする班など、思い思いにみんなが楽しい時間を過ごすことができ、大満足な活動となりました。

最後の訪問先である水木しげるロードでは、班に分かれ決められた区間の中を散策したり、楽しそうにおみやげを買ったりしました。家族の人に何を買って帰るか悩みながら買い物をしている子どもが多かったです。



日帰りの修学旅行でしたが、教室の中だけでは学べない鳥取県内に残る戦争の歴史や豊かな自然に直接触れることができたことは、子どもたちにとって視野をひろげるよい機会になりました。そして何より、仲間と行動をともにし、楽しい時間を共有できた思い出は、いつまでも心に残ると思っています。

修学旅行に出発する際、大山口列車空襲を総合的な学習で調べている大山西小の 6 年生から、自分たちが調べた内容を紹介したビデオメッセージをいただきました。学校間の交流が深まったこともうれしい出来事でした。

